

令和3年

国東市教育委員会 第9回 定例会
会議録

日時：令和3年9月30日（木）午前9時30分
場所：アスト3階会議室

第9回定例会議事日程

会 期

令和3年9月30日(木)

開会 午前 9時26分

閉会 午前 11時07分

場 所

アスト3階会議室

議 事

議案第25号 準要保護児童・生徒に対する就学援助費の認定について

報告・説明事項

区域外・校区外就学の報告について

令和2年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

令和3年度国東市一般会計補正予算(8月専決・9月補正)について

令和3年第3回国東市議会定例会 一般質問について

その他

令和3年度「おおいた教育の日」推進大会の開催について

○学校訪問の日程について

○教育総務課事業の進捗状況について

出席者(13名)

教育委員(5名)

教 育 長

河 野 盛 次

教育長職務代理者

高 山 信 哉

委 員

吉 武 耕一郎

委 員

福 永 泰 信

委 員

古 城 芙美枝

教育委員会事務局(8名)

教育総務課長

山 下 孝 子

学校教育課指導・人権教育部落差別解消推進係長

末 平 誠

社会教育課長

猪 俣 優

文化財課長

井 上 浩

図書館長
給食センター所長
教育総務課総務係長
教育総務課主任

松 本 智恵美
都 留 幸 雄
萱 島 洋 人
清 原 卓 海

【午前9時26分】

山下教育総務課長 開会宣言

【教育長あいさつ】

河 野 教 育 長

【会議録署名委員指名】

河 野 教 育 長 会議録署名委員に吉武委員、古城委員を指名

【前回会議録承認】

全委員承認

【各課報告及び今後の日程】

山下教育総務課長 9/ 1 第5回管理職会議
9/ 2 国東市議会第3回定例会 開会
9/ 9~10 国東市議会第3回定例会 一般質問
9/14 国東市議会第3回定例会 議案質疑
9/21 秋の全国交通安全運動スタート式
9/24 国東市議会第3回定例会 閉会
10/15 母と女性教職員の会との意見交換
10/21 市職員組合交渉「現業交渉」

末平学校教育課係長 9/ 1 安岐中柔道部全国大会結果報告
9/11 国見中・国東中・安岐中体育大会
9/16 第3回国東市校長会
10/ 1 中学校都市新人体育大会
10/14 志成学園運動会
10/19 中学校都市駅伝大会
10/21 体育専科教員公開授業
10/23 国東小運動会
10/29 小学校教科担任制推進校公開授業

猪俣社会教育課長 9/ 4～ 第 74 回県民体育大会（中止）
9/20 第 1 5 回国東市小学生水泳フェスティバル
9/26 第 2 1 回九州瀬戸内高等学校女子駅伝競走大会（中止）
10/ 9 第 1 6 回国東市陸上競技記録会
地区人権学習会を 9 月から開始していること、マリンスポーツ施設の利用状況を報告

井上文化財課長 9/ 3 文珠耶馬保存活用計画策定委員会
9/30 キリシタン・南蛮文化交流協定協議会実行委員会
10/ 1 安国寺集落遺跡史跡整備検討委員会
修学旅行の受入予定を報告

都留給食センター所長 給食費の口座振替予定日を報告

松本図書館長 9/ 2 吉木サロン出前講座
9/ 7 ブックスタート（4・5 カ月健診）
9/ 9 あかちゃんおはなし会
9/11 4 館おはなし会
9/14 ブックスタート（1 歳半健診）
9/30 図書館資料整理日、図書館職員連絡会
10/ 2 子ども司書養成講座 第 2 回全体研修
10/13 国東高校インターンシップ（10/13～15）
10/23 ブックリサイクル（10/23～ ）
10/27 2021・第 75 回読書週間（10/27～11/9）
10/31 大人のプランニング・工作教室（くにさき図書館）

高山委員 小学校の教科担任制について、昨年までと推進校は同じでしょうか。また、来年度何校増やすなどの具体的な予定はあるのでしょうか。

末平学校教育課係長 まず、本年度の推進校ですが、3 年間の指定ということで昨年度と変わらず安岐小、安岐中央小、国東小の 3 校です。それから、来年度の方向性ですが、現在の取組が県からの加配をいただいて指定校を指定して研究を進めている関係で、県としては拡大の方向で考えているということは聞いておりますが、何校

になるかというところまではまだ確認できておりません。

吉 武 委 員 マリンスポーツですが昨年と比べてどうなのですか。
猪俣社会教育課長 昨年は7月から11月の間に約700名の方が来られました。今年度は約1ヵ月を残して約840名ということで若干増えております。

吉 武 委 員 学校の授業の一環として、児童生徒が来場した分がメインですか。

猪俣社会教育課長 昨年は学校の体験学習ということで児童生徒が200名で一般が500名でした。今年は一般の方が約430名で、若干減っている状況です。

吉 武 委 員 児童生徒がリピートで来場した分は一般来場者の数に入っているのですか。

猪俣社会教育課長 昨年度はひとり5回分の無料券を配付したのですが、本年度は学校の授業で体験するという形で来られた児童生徒にリピート券を渡すようにはしていますが、その分で来られた人数についてはまだ把握していません。

吉 武 委 員 全体的に増えたけど、授業の一環として行った分が増えたということですよ。結構面白そうなのでもっと増えてもいいと思います。

猪俣社会教育課長 コロナ禍ということであまり大々的な宣伝もしていませんので、この位が妥当かと思っています。

吉 武 委 員 非常に良い企画なので、来年はもっと考えて国東の市民の方にも体験できるような取組を、宣伝を含めてお願いしたいと思います。

河 野 教 育 長 この事業については収益事業として、目標の数値は財政サイドから示されていますか。

猪俣社会教育課長 それはないです。

河 野 教 育 長 そうすると多くの方に来てもらうためにはどうすれば良いかというところに焦点を置いて事業を組み立てても良いわけですよ。とにかく多くの方に来てもらうということで検討を進めると良いのではないのでしょうか。

古 城 委 員 吉木地区のサロンの出前講座で報告があった大人向けの紙芝居はどれくらいあるのでしょうか。

松 本 図 書 館 長 はっきり大人向けというわけではなく、大人も楽しめるテーマを司書が選んでいます。

- 古城委員 出前講座はサロンだけですか。
松本図書館長 ご要望があればどこでも訪問しますのでお声がけしてください。
- 福永委員 先ほどのマリンスポーツの件ですが、問い合わせ先はまだ社会教育課なのですか。
猪俣社会教育課長 そうです。社会教育課のマリンスポーツ係です。
福永委員 土日は誰がいらっしゃるのですか。
猪俣社会教育課長 土日は日直の者が対応します。
福永委員 とりあえず社会教育課の方ではないですね。
猪俣社会教育課長 そうです。
福永委員 私は現場に電話があってそこに直接問い合わせするのが一番良いのではないかと考えています。社会教育課が窓口で問い合わせ先になるのであれば、社会教育課の方も実際にこの体験をしてみてもらって、ちゃんと説明できるようになっているのが普通ではないかと思いますが、そこら辺はどうなっていますか。
- 猪俣社会教育課長 受付状況等についてはマリンの担当の者が全部把握しています。受付はスマホやパソコンでもQRコードを読み取ってできるようになっています。電話での問い合わせに関して、指導内容については、インストラクターが免許皆伝の資格を持っていますので、社会教育課社会体育係の職員4人がそのインストラクターに指導を受けまして指導4級の免許をもらって本年度その職員が小中学校の体験学習に応援に行って子ども達にマリンスポーツの指導をしていますので、内容等につきましては説明ができるようになっています。ただ、土日や受付状況についてはマリン係しかできないような状況がありますので、もうちょっと打合せを良くして社会体育係でも対応できるようにしたいと思います。
- 吉武委員 事務所では受付はしないのですか。
猪俣社会教育課長 受付はほとんどネット予約となっていて、電話での予約はあまりありません。
- 吉武委員 土日の飛び込みで来る方に対してはどのように対応をしているのですか。
猪俣社会教育課長 大人数でなければ対応できます。
吉武委員 状況次第で受付はするが、キャパオーバーしたらお

断りするということですか。

猪俣社会教育課長 今年の営業期間中に飛び込みも何件かありましたが、お断りをしたことは一件もなかったという報告は受けています。どうにか対応はできています。

吉 武 委 員 その辺も含めてもう少し検討した方が良いのではないかと思います。市民だけではなく、幅広く受け付けることで知名度も上がり利用者も増えていくと思います。お役所的な対応では困ると思います。

河 野 教 育 長 今回一般質問の答弁を作る中で、行政は縦割りということを実感した部分があって、いわゆる権現崎全体をトータルとして扱っている部署が無いというところなんです。たまたまマリンは社会教育課でやっていますが、権現崎キャンプ場や道の駅、農産物販売所がそれぞれバラバラでお互いの連携が全く取れないような縦割りの状況になっています。そういった意味でトータルとしてあの財産をどうやって使っていくかが大きな課題だと認識しており、ワンストップで留めてやれるような体制ができると思い込んでいます。

福 永 委 員 私は予約の受付はネットでされたらいいと思うのですが、申し込まれるお客様の側に立つと、体験したことのない方にとってはいろんなことが不安な部分もあるし、どういう設備があってどういうふうな方々が指導してくださる、やっていい事、出来ない事、何歳からできるかなど、そういったところのフォローというのもすごく大事なことではないかと思います。少しでも関心を持って問い合わせられて来られるお客様方に対して不安を少しでも和らげてあげられるような体制というものも必要ではないかと思います。ネットを使って便利に予約できていいのですが、もうちょっと人間臭さというか、血の通ったような対応も必要ではないか、そうするともっとリピーターも増えてくるのではないかと思います。

吉 武 委 員 道の駅に案内の看板はでていないのですか。

猪俣社会教育課長 ないです。

吉 武 委 員 今年の反省として来年に向けてもう一度考えていただきたいと思います。

河 野 教 育 長 市長部局に組織全体をどうするのか、トータルとし

てどういうふうに管理していくのか、問題提起をしていきたいと思います。トータルとして利活用が進む様な仕組みが大事だと思います。

吉 武 委 員 後、図書館のカード登録はどれくらいですか。
松 本 図 書 館 長 2万が近くなっています。3年前くらいは市民の38%くらいがお持ちでしたが、毎年3%ずつ上がって今は50%が近くなっています。

【議 事】

議案第 25 号 準要保護児童・生徒に対する就学援助費の認定について

山下教育総務課長 配付資料をもとに議事内容について説明
河 野 教 育 長 よろしいでしょうか。
全 委 員 はい、よいです。

【報告・説明事項】

○区域外・校区外就学の報告について

末平学校教育課係長 配付資料をもとに内容について説明
河 野 教 育 長 よろしいでしょうか。
全 委 員 はい、よいです。

○令和2年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

山下教育総務課長 配付資料をもとに内容について説明
河 野 教 育 長 ご意見等がございましたらお伺いします。
福 永 委 員 資料10ページの不登校児の児童生徒の割合の項目で、全国や県内と比較すると少ないが、市内では増えているということに対してどういうふうに考えていらっしゃるのか、対応はどのようなのか、またA判定がついているのがどのようなかと思います。
末平学校教育課係長 今言われたように経年で見えていくと割合としては上がっているのですが、具体的な個別のケースを見ていったときに、例えば不登校状態で市外から転入してきた家庭等、段々増

えてきていまして、そういった事を考慮すると市内の中で急に増えているという把握とはなっていません。ただ、やはり取組はしっかりと継続していかないと、学校の取組が変わっていくと不登校児が増えていく可能性がありますのでしっかりと今まで通りの取組を強く進めていきたいと思っているところです。

河野教育長 今までは学校に帰すというのが大前提の不登校の解消ということだったのですが、少し法律が変わって、フリースクール等でもここに一定の要件を備えれば学校と同様の認定をするように制度が変わってきて、その流れとして不登校に対する対応が国として県全体として少し変わってきた部分があります。これを国東市としてどう受け止めるのか、やはり、私は従来通り基本的には社会生活をするうえで学校生活は非常に大事なもので、不登校の方は学校に帰っていただく、その取組が非常に大事だと考えています。ただどうしてもそれで無理な方については、フリースクール等を利用するのも逆に言えばやむを得ない、というような整理をすべきだろうと、学校教育課にはお願いをしています。

福永委員 同じページに家庭での運動習慣の確立とありますが、部活や学校以外で運動をされている子はいいいとして、それ以外、なかなか習慣付けるというのは何かあるのかという気がしますが、どうでしょうか。

末平学校教育課係長 健康チャレンジが始まった当初は、子どもの運動の二極化、する子はするのですが、しない子は運動からかなり離れてしまうというのと、大人の運動不足も課題としてあったので、医療保健課とコラボしながら家庭で子どもと大人が一緒に運動するような習慣が目指せたらいいなということで「いえなわ」、家で一緒に縄跳びをしませんか、そういった取組を進めてきているところですが、なかなか縄跳びはきつくて続かないというようなところもありまして、今はちょっと幅を広げてやり易い運動、親子でウォーキングでもいいと思いますし、なかなか大人が動きにくければ、大人の声かけで子どもが運動を継続できるような、そういう取組をしませんかという投げかけを家庭にしているところです。

福永委員 家庭もいろんな家庭があって、共働きの世帯が多くて、夜勤されたり、早出があったり、家族でみんな揃って食事を一緒にとることができる家庭が稀というか、そういう家庭が増えてきている中で、もちろんこれができる家庭は取り組ん

でいかれたらいいと思いますが、そういった家庭ばかりではないのではないかと考えています。

末平学校教育課係長 家庭の形は様々で、この通りにできる家庭もあれば、子ども任せになってしまう家庭も正直あるのかなと思うのですが、学校の役割としては、家の方ができなかつたとしても、子どもが家で継続的にこういう運動をするよという計画を立てて、それができれば褒めてあげるし、できなければ励ましてあげるといった形で、家でも運動をする習慣付けをしているところです。

古 城 委 員 資料9ページの「教職員の資質向上のため公開授業への参観の促進と授業力の向上」の項目で、成果指標が参加率で参加が100%だから評価がAということだと思うのですが、評価と課題のところ「参加して学んだことを校内で還流し、日常の授業に生かしていくことに課題がある。」と書かれていて、ここが目的なので、これでAなのかなと少し気になりました。後、もうひとつ、資料11ページの「成年(若者)の学びのニーズを調査して新しい講座開設の検討」の項目で障がい者の生涯学習事業のところがありますが、3年前の国民文化祭以来、障がい者の部門のところには社会教育の方がたくさん係わってくださり、例えばお神楽に障がい者を誘って一緒に踊ってくださったりしたことで、障がい者の生活が本当にいきいきしてきていると実感しています。また、絵を書くワークショップに誘ってくださり、絵を書く才能を発見していただいたことで、何回も賞をいただいたり、美術館に出展していただいたりして、そういう人たちの生活もすごく潤ってきていて、本当にありがたかったと思っています。

末平学校教育課係長 資質向上について、まさに言われる通りで目指すところは日々の授業に活かしていくことが当然目標であるわけですが指標として設定して取り組んでいく時になかなか判断の難しさがあるということで指標としては参加率という形で数字で見やすい形で設定しておりますが、言われる通りで授業力向上に繋げるためのさらなる取組をしっかりと進めていかなければいけないと思っています。目指すところはこれだということは学校にもまたしっかりと伝えて、取組を続けていきたいと思っています。

河 野 教 育 長 これは、授業を見る先生は改善に向けて意欲のある先生が見に行くわけですから、改善されていると思うのですが、問

題はそういった公開授業に参加しない先生にいかに関与力を付けてもらうかが課題ではないかと思えます。参加が現実的には希望制みたいになっているので、努力する先生は努力する、努力しない先生は残念ながら努力することをためらう、ここが学校の課題かと、そして行った先生が全員の先生に呼びかけたり還流をするなどの行為そのものがなかなか行われにくいという部分が学校の仕組みのひとつの課題かと思っています。それをいかに管理職が時間を作って還元するのか、そういった場を設けるのかということです。そういった意味で、昨日の校内授業研究大会のように、お互いに見合って、厳しい問題の指摘をしながら、お互いの研究を高めていく、こういった取組が極めて大事だと感じました。

高山委員

前回も少し触れましたが、研究授業や公開授業の後の反省会が重要だと思います。小学校の先生は他の先生が見ているんな事が言えると思うのですが、問題は中学校の先生で、各校に一人、二人だったら当然いろいろな事を言う事が少なくなるので、中学校の先生に刺激を与える方策というのがものすごく大事ではないかと思えます。刺激を与えられることによって、改善していこうと思ってくれる先生がひとりでも出れば、中学3年段階の学力等も随分変わってくると思います。研究授業等はすればする程、後々活かされていくということがあるのではなかろうかと思えます。いろいろな先生がいろいろな角度から言ってあげる事が大事ではなかろうかと思えます。

末平学校教育課係長

言われる通りで小学校であればどの教科も担当しますのでみんなが同じ視点で言えるのですが、中学校ではどうしても教科の壁というものを無意識なりにも感じているようで同じ教科の先生であれば突っ込んで言えるのですが、そうでなければ言いにくいというような雰囲気があったと思えます。昨日安岐中で授業研究会があったのですが、提案授業が国語でした。私も行きましたが、中学校の国語が専門ではないので、昨日は国語の専門の先生を県から呼んで専門的な指導をしてもらって、校内の同じ教科の先生からの指導、他の教科の先生からの意見もいただくということで、専門的なものとそうでない他の教科からの声も含めて研究を進めたところです。今後中学校はそういった県の方から専門の教科に関わる、指導できる方をお呼びして、校内研究を

充実していきたいと思っています。

福 永 委 員

資料の最後の35ページ、総括的な意見で、「幼児教育の推進を力強く行っていただきたい。」とありますが、昨年の学校訪問で幼稚園も見学させていただきましたが、私が感じることは小さい子どもはどんな色にも染まってしまふ、染まりやすいと思うので、そこは慎重にしていきたいと思います。社会の都合に合わせてうまく具合に教育していかうとすればそれもできるでしょうが、そうではなくて、どういう部分に重きを置いているのかを真剣に考えていただき、教育委員会でもいろんな分野、読み聞かせなどの図書館の関係、社会教育の関係、文化の関係、食に関する関係、みなさん是非連携して、これは取り組んでいただきたいと思います。子どもは生まれてから年齢に応じて発達していきますので、それに合わせて人としてどうゆうふう成長してほしいのか、そこら辺を慎重に考えて、大人の都合だけで教育の方針を決めてほしくないという気がします。

古 城 委 員

衝動的に怒って物を投げたり、蹴ったり、掴みかかったりするような子どもさんが多くなっているのではなからうかという声を各方面から聞きます。これを数字で表しているものがあるのかはわかりませんが、そういう子どもさんが多くて児童発達支援を利用されるようになっている子どもさんがたくさんいます。小さい時期にちゃんとルールがあり、そのルール通りにやりましよう、友達と一緒に遊びたかったら物を投げたりせずに、仲間に入れて、遊びに入れてと声を掛ける、そういうところのルールから入っていくのが良いと思いますが、これは本当に推測なのですが、そういうことがご家庭で、もしかしたらなかなかできないのかなと思っています。ご家庭や地域でたくさん子どもと一緒に遊ぶことも無しに、本当に核家族の中でそういうところがうまくいっていないと思われるような状況が各家庭であるのではなからうかと思われます。授業の時にちゃんと座ってられない子、多動の子どもさんとかはどれくらいなら座ってられるかを大方見て、座ってられない時間帯になったら「ここにあるのを持ってきてね」と先生方が頼んだりして少し動くチャンスをあげるとか、そういう配慮をしながら、なんとかこの子どもさんは授業についていけますよと言うような、そういうところがもし学校側から考えたらちゃんとされていたら、小一プロブレムの課題が出ていた

と思いますが、そういった部分については解消されていくのではなかろうかと思います。その辺のところは非常に幼児教育の中で大切だろうと思っています。

末平学校教育課係長 幼稚園の教育の良さを、私も教育委員会に来て見る機会が増えたわけですけど、幼稚園はこういう狙いで教育していたのだなと改めて感じていまして、いろんな世の中の流行事とかは確かにあると思うのですが、幼稚園の中で大事にしているのは遊びを通して、環境と関わったり友達と関わったりする中で学びを進めていくということを展開していくことです。目指す方向性が園によってバラバラかということ、やはり幼稚園教育要領があったり、目指す十の姿という目標があったりして、卒園するまでにこういう子どもに育てましょうという目標があって、それに基づいた園での教育を進めているところです。その中で、人との関わり方を学んだりなど、そういうことを中心に小学校に繋げていくという取組をしているところで、大きな流れは世の中の動き、流行に流されない太い芯のある幼児教育をされていると思っています。

吉 武 委 員 この評価は一部コロナでかなり停滞しているところと進んでいるところとはっきり見える評価になっているので、そこら辺りをもう一度見つめ直して次年度の計画、その他に反映するように各課で良く汲み上げて、取組をしていただきたいと思います。

○令和3年度国東市一般会計補正予算（8月専決・9月補正）について

山下教育総務課長 配付資料をもとに内容について説明

河野教育長 よろしいでしょうか。

全 委 員 はい、よいです。

○令和3年第3回国東市議会定例会 一般質問について

山下教育総務課長 配付資料をもとに内容について説明

河野教育長 ご質問等ございましたらお伺いします。

福永委員 給食の無償化ですが、無償化にしない理由が3点ほどあって、3番目に衣食住は家庭が基本だということで個の家庭でしっかりしていただきたいと書かれてあったと思うのですが、学校給食のあり方も始まった頃と比べて変わってき

ていると思うのです。今、国東市の子どもさん達が置かれている家庭の状況というのは私もあまり詳しくはないですけど、家庭の中では基本、親が嫌いなものは食卓に上がりませんから、その中でバランスの取れた食事というのは栄養士さんが献立を考えてくださって学校給食の中で提供してもらえます。また、食べたくない嫌いなものでも食べやすく調理してくださって何でも食べてもらえるよう努力されていると思うのですが、そういった観点で言うと、衣食住に関しては家庭が基本なのですが、保護者の仕事の状況ですとか一緒に家庭でご飯を食べる機会がなかなか無いとか、そういった中で、学校でみんなで食事をとる楽しさというのをすごく今は求められている時代ではないかと思っています。できれば、予算の都合がつくようであれば、無償化はすごくありがたいと思うのですが、できないにしても成るべくそういう方向に向かうように、少しずつでも改善できるところは改善して、学校給食を利用する家庭が少しでも負担が減るように考えていただけたらと思います。

都留給食センター所長

無償化については一般質問で回答した通り、現時点では考えていません。理由についても資料に書かれているとおりです。非常に財政面の負担もありますし、基本的な部分でこれは保護者が責任をもって果たすというところが子どもの教育にも必要だということで、そういう文面になっています。私たちも保護者の負担を軽くするというのは、まず頭にいつも置いて、給食費については今後のことも考えていっておるのですが、現時点で水準として国東市の給食費が高いかということ、県下の中でも安い方に入ります。最近も食材がちょっと値上がりして、小麦であるとかいろいろな物が値上がりして非常に苦しいやりくりをしているところです。栄養士に聞いても1円単位で調整しており、今の給食費の額を維持するのも厳しい状況で、今必死に現状を維持しているところです。なるべく現状を維持する形で当面頑張っていきたいと、私も教育委員会の方針としても考えております。

河野教育長

学校給食については努力義務であって法律的には公営の学校給食を行うことは義務付けられていません。大分県では学校給食を全市町村で行っていますが、県によっては学校給食そのものを行っていない県もあります。ですから、学校給食を行うことを前提にすべて議論されていることは基

本的にどうなのかと思う点と、食材費だけ保護者から頂くのですが、食材費の内容についても努力をしながら、その他様々な給食に係る人件費や機材、配膳など全て市が持っていますので、こういった施設に関しても努力をしながら最小限の給食費で抑えているという点、さらに加えて生活が厳しい要保護、準要保護の方については、それを減免する制度を設けていますので、あえてそれを全市民の方に無償にするということは果たしてどうなのかということが市長の考え方のベースにあります。無償化にすると約7千万の財源が必要ですので果たして何でも無償化というのはどうなのか、衣食住については保護者の方が努力をされる、その努力をされる姿を子どもが見て、また自分がどうしなければならないのかを子どもが考えていくべきだろう、それが教育の世代を超えた繋がりという意味でも教育的な価値があるだろうというふうに捉えてこの答弁をさせていただきました。今後もいろいろな意見を聞きながら引き続き、議論を進めていきたいと思っています。

【その他】

- 令和3年度「おおいた教育の日」推進大会の開催について
- 学校訪問の日程について
- 教育総務課事業の進捗状況について

【午前11時07分 閉会】

山下教育総務課長 閉会宣言

令和3年10月22日

(署名委員) 教育委員 吉 武 耕一朗 ㊟

教育委員 古 城 芙美枝 ㊟

(会議録作成者) 国東市教育委員会
事務局教育総務課総務係 萱島 洋人

